

## (2) 智頭急行株式会社経営状況報告書

### 一 法人の概要

- 1 名 称 智頭急行株式会社
- 2 目 的 鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに付帯又は関連する事業を営むことを目的とする。
- 3 設立登記年月日 昭和61年5月31日
- 4 資 本 金 450,000,000円(9,000株)
- 5 株 主
- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 鳥 取 県 | 152,500,000円(3,050株) |
| 兵 庫 県 | 60,000,000円(1,200株)  |
| 鳥 取 市 | 50,550,000円(1,011株)  |
| 岡 山 県 | 36,450,000円( 729株)   |
| 各市町村  | 89,300,000円(1,786株)  |
| 民間企業  | 58,500,000円(1,170株)  |
| 各 団 体 | 2,700,000円( 54株)     |
- 6 役 員
- |               |           |       |                         |
|---------------|-----------|-------|-------------------------|
| 取 締 役         | 15人       | 監 査 役 | 2人                      |
| 取 締 役 会 長     | 平 井 伸 治   |       | (鳥取県知事)                 |
| 取 締 役 副 会 長   | 荒 木 一 聡   |       | (兵庫県副知事)                |
| 取 締 役 副 会 長   | 宮 地 俊 明   |       | (岡山県副知事)                |
| 代 表 取 締 役 社 長 | 城 平 守 朗   |       |                         |
| 代 表 取 締 役 常 務 | 松 本 俊 一   |       |                         |
| 取 締 役         | 深 澤 義 彦   |       | (鳥取市長)                  |
| ”             | 吉 田 英 人   |       | (八頭町長)                  |
| ”             | 寺 谷 誠 一 郎 |       | (智頭町長)                  |
| ”             | 青 木 秀 樹   |       | (西粟倉村長)                 |
| ”             | 萩 原 誠 司   |       | (美作市長)                  |
| ”             | 庵 途 典 章   |       | (佐用町長)                  |
| ”             | 遠 山 寛     |       | (上郡町長)                  |
| ”             | 杉 原 伸 治   |       | (株式会社山陰合同銀行代表取締役専務執行役員) |

(2) 智頭急行株式会社

	取締役	種山 誠	(株式会社鳥取銀行取締役専務執行役員)
	〃	丸山 明則	(神姫バス株式会社専務取締役)
	監査役	石田 耕太郎	(倉吉市長)
	〃	福井 眞澄	(兵庫県信用金庫野里駅前支店長)
7	従業員	72人	
8	事務所	本社	鳥取県八頭郡智頭町智頭2052番地1
		運輸部	鳥取県八頭郡智頭町智頭2052番地2
		大原事業所	岡山県美作市古町1550番地2

## 平成29年度事業実施状況

### 1 営業の概要及び成果

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取り組み、無事故で終了した。

特急列車の利用状況は、7月から10月にかけて発生した台風や大雨の影響により列車の運休が発生したが、ゴールデンウィーク期間を含めて4月から5月にかけての利用が好調だったことや、11月に鳥取で開催されたポケモンGOイベントの影響等で、前期比1.6%増と前年を上回ることができた。

#### (1) 列車利用状況

(単位：人、%)

区分	当期	前期	増減数	前期比	主な要因
スーパーはくと	638,622	629,076	9,546	101.5	鳥取砂丘で行われたポケモンGOイベント等による増
スーパーいなば	264,701	259,593	5,108	102.0	
特急列車 計	903,323	888,669	14,654	101.6	
普通列車	272,030	238,930	33,100	113.9	通学定期、企画きっぷによる増

#### (2) 収支状況

(単位：千円、%)

区分		当期	前期	増減額	前期比	主な要因
主な収入	旅客運輸収入	1,392,468	1,361,720	30,748	102.3	乗車人員の増
	運輸雑収入	1,401,577	1,388,168	13,409	101.0	車両使用料の増
営業収益 計		2,794,045	2,749,888	44,157	101.6	
主な費用	修繕費	948,005	826,965	121,040	114.6	構造物他修繕の増
	動力費	260,498	191,796	68,702	135.8	原油価格の増
	減価償却費	438,389	378,489	59,900	115.8	車両他投資の増
営業費用 計		2,581,003	2,352,142	228,861	109.7	
営業利益		213,042	397,746	△184,704	53.6	
経常利益		197,545	407,480	△209,935	48.5	

#### (3) ダイヤ改正の実施

平成30年春のダイヤ改正を3月17日に実施し、4月に大原駅近くに開校された専門学校や沿線の高校なども含めた通学を考慮した列車ダイヤの編成や、大原駅で乗り継ぎとなる一部の列車の運行区間を見直し、利便性の向上を図った。

#### (4) 安全対策の実施状況

安全対策については、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする職場風土の構築に向けて安全を更に確かなものとするため、様々な訓練や勉強会の実施などにより、関係法令等の理解と遵守を深めた。

鉄道固有の知識、技術・技能の維持・向上を図るため、外部研修等の受講並びに社内に

おける年間を通じた教育計画に基づく勉強会、異常時対応訓練等の実施及びJR、警察署、消防署との合同の異常時対応訓練の実施、美作市の総合防災訓練への参加を行った。また、土木構造物、信号設備及び車両の修繕並びにスーパーはくとの接客設備の改造など、中期経営計画の投資・修繕計画に沿って安全で快適な乗り心地の提供に取り組んだ。

(5) 企画きっぷの発売状況

「東京往復割引きっぷ」、「京阪神往復割引きっぷ」、「広島往復割引きっぷ」及び「岡山往復割引きっぷ」の発売状況は、東京・京阪神方面は前期比7.6%、広島・岡山方面は同7.3%の増加となった。

智頭線が利用可能なインバウンド向け商品のJR-WEST RAIL PASSについては、山陽・山陰エリアパスは前年同時期との比較で4.6%減少したが、新たに7月から同エリアを含む山陽・山陰・北部九州パスが発売され、今後ご利用の増加が見込まれる。また、外国人旅行者が年々増加している影響などで、山陰・岡山エリアパスは91.7%増となった。

京阪神、岡山、広島方面からの誘客を図るため、駅プラン「かにカニ日帰りエクスプレス」をご利用のお客様に、引き続き日本海の干物セットをプレゼントする企画を実施した。智頭急行独自の企画きっぷとして、定期券と同時に使用できる「定期券用自由席回数特急券」は前期比44.7%増となり、新たに7月から普通乗車券・普通回数券と同時に使用できる「自由席回数特急券」を発売するなど、利用者の増加を図った。

普通列車については、利用者拡大に向けて駅窓口等での広報・宣伝に努めた。普通列車の車内でも発売している「智頭線1日フリーきっぷ」は前期比0.2%減とほぼ前年並みであったが、シニア向け「楽ラクきっぷ」は32.5%、運転免許返納者向け「優ユウきっぷ」は39.1%の増となり、特に2人で利用する「普通列車ペアきっぷ」は145.2%増と倍以上のご利用があった。また、引き続き観光バスと連携した「ちょい乗り」に取り組むなど、利用者の増加を図った。

(6) 利用促進に向けた広告宣伝等の実施状況

特急列車の利用促進については、JR主要駅での広報宣伝看板の設置やJR、自治体等と連携して、京都・大阪・三ノ宮や相生などの京阪神方面や岡山駅でのキャラバン・PR活動、姫路駅でのイベントを実施し、多くのお客様に「かに」や「温泉」、「スーパーはくと」の魅力をPRした。

また、平成30年7月～9月に山陰DC（デスティネーションキャンペーン）が実施されることに伴い、平成29年7月～9月にプレDCが実施され、JRと連携した企画きっぷ（山陰ゆめぐりパス）の設定、大阪駅でのDCの実施など山陰への誘客に取り組んだ。

普通列車についても、「風鈴列車」、「クリスマス列車」など四季折々の装飾列車や、「ハロウィン列車」、「恋チョコおもちやトレイン」、3月18日に外装のリニューアルを行ったイベント列車「あまつぼし」を使用した「サイクルトレイン」などのイベント列車や、沿線自治体と連携した臨時列車の運行、更には利用促進や地域の活性化に資するよう沿線のイベント等に積極的に参加し、一層のPR活動を行うなど地域の皆さんに智頭線を知って、親しんで、乗っていただく取組を進めた。

## 2 設備投資及び資金調達の様況

主な設備投資とその金額は次のとおりであり、全て自己資金で対応した。

・指定席化改造工事(特急車両7両)	152,037千円
・自動列車停止装置更新(あわくら温泉 駅・恋山形駅)	71,199千円
・車内情報表示器更新(特急車両34両)	55,128千円
・AV装置更新(特急車両34両)	45,450千円
・クーラー更新(特急車両2両)	40,999千円

## 損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	円	円	円	
I 鉄道事業営業利益				
1 営業収益	2,794,044,521	2,749,888,477	44,156,044	
(1) 旅客運輸収入	1,392,468,002	1,361,720,106	30,747,896	
(2) 運輸雑収入	1,401,576,519	1,388,168,371	13,408,148	
2 営業費用	2,581,002,290	2,352,141,936	228,860,354	
(1) 運送費	1,947,679,311	1,779,330,085	168,349,226	
(2) 案内宣伝費	20,484,771	22,301,112	△ 1,816,341	
(3) 厚生福利施設費	1,971,064	1,513,559	457,505	
(4) 一般管理費	102,777,009	101,014,622	1,762,387	
(5) 諸税	69,701,612	69,493,497	208,115	
(6) 減価償却費	438,388,523	378,489,061	59,899,462	
営業損益	213,042,231	397,746,541	△ 184,704,310	
II 営業外収益	17,015,821	16,169,989	845,832	
1 受取利息	12,287,723	9,587,919	2,699,804	
2 雑収入	4,728,098	4,891,577	△ 163,479	
3 業務受託料	0	1,690,493	△ 1,690,493	
III 営業外費用	32,513,129	6,436,139	26,076,990	
1 支払利息	1,499,464	2,458,251	△ 958,787	
2 繰延資産償却	1,203,723	1,611,290	△ 407,567	
3 雑支出	29,809,942	676,105	29,133,837	
4 業務受託経費	0	1,690,493	△ 1,690,493	
経常損益	197,544,923	407,480,391	△ 209,935,468	
IV 特別利益	46,126,115	978,122	45,147,993	
V 特別損失	29,435,025	22,744,539	6,690,486	
税引前当期利益	214,236,013	385,713,974	△ 171,477,961	
法人税等	62,011,700	114,550,700	△ 52,539,000	
当期純利益	152,224,313	271,163,274	△ 118,938,961	

## 貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金・預金	2,165,418,389	2,364,101,723	△ 198,683,334
未収運賃	420,442,361	407,626,239	12,816,122
未収収益	2,199,979	7,791,887	△ 5,591,908
有価証券	400,816,889	400,816,889	0
貯蔵品	283,022,020	314,557,353	△ 31,535,333
前払費用	9,280,858	9,434,050	△ 153,192
未収金	45,189,899	985,184	44,204,715
未収還付消費税	0	6,025,179	△ 6,025,179
流動資産合計	3,326,370,395	3,511,338,504	△ 184,968,109
2 固定資産			
(1) 鉄道事業固定資産	2,606,271,492	2,531,403,158	74,868,334
有形固定資産	2,592,528,018	2,515,474,901	77,053,117
無形固定資産	13,743,474	15,928,257	△ 2,184,783
(2) 投資その他の資産	19,969,611	31,781,860	△ 11,812,249
差入保証金	1,910,000	1,910,000	0
長期未収金	17,952,331	29,772,020	△ 11,819,689
その他	107,280	99,840	7,440
固定資産合計	2,626,241,103	2,563,185,018	63,056,085
3 繰延資産			
開発費	3,833,588	3,720,861	112,727
繰延資産合計	3,833,588	3,720,861	112,727
<b>資産合計</b>	<b>5,956,445,086</b>	<b>6,078,244,383</b>	<b>△ 121,799,297</b>
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	284,905,433	471,671,574	△ 186,766,141
未払費用	10,420,077	6,536,728	3,883,349
未払法人税等	7,743,800	54,223,600	△ 46,479,800
未払消費税等	29,911,026	0	29,911,026
前受運賃	1,549,718	1,156,825	392,893
預り金	5,732,893	2,144,735	3,588,158
前受収益	17,926,620	17,926,765	△ 145
流動負債合計	358,189,567	553,660,227	△ 195,470,660
2 固定負債			
長期未払金	119,310,048	197,862,998	△ 78,552,950
固定負債合計	119,310,048	197,862,998	△ 78,552,950
<b>負債合計</b>	<b>477,499,615</b>	<b>751,523,225</b>	<b>△ 274,023,610</b>
<b>III 純資産の部</b>			
1 株主資本			
(1) 資本金	450,000,000	450,000,000	0
(2) 利益剰余金	5,028,945,471	4,876,721,158	152,224,313
利益準備金	2,700,000	2,700,000	0
その他の利益剰余金	5,026,245,471	4,874,021,158	152,224,313
別途積立金	2,700,000,000	2,560,000,000	140,000,000
固定資産圧縮積立金	2,170,000,000	2,040,000,000	130,000,000
繰越利益剰余金	156,245,471	274,021,158	△ 117,775,687
純資産合計	5,478,945,471	5,326,721,158	152,224,313
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>5,956,445,086</b>	<b>6,078,244,383</b>	<b>△ 121,799,297</b>

## 株主資本等変動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

	株主資本										株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式						
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金									
					別途積立金	固定資産圧縮 積立金	繰越 利益剰余金							
前期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,560,000,000	2,040,000,000	274,021,158	0	5,326,721,158	0	0	5,326,721,158		
当期変動額														
剰余金の配当									0			0		
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立て									0			0		
積立金の積立					140,000,000	130,000,000	-270,000,000		0			0		
役員賞与の支給									0			0		
過年度税効果調整額									0			0		
当期純利益							152,224,313		152,224,313			152,224,313		
当期変動額合計	0	0	0	0	140,000,000	130,000,000	-117,775,687	0	152,224,313	0	0	152,224,313		
当期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,700,000,000	2,170,000,000	156,245,471	0	5,478,945,471	0	0	5,478,945,471		

個 別 注 記 表

商号 智頭急行株式会社

平成29年 4月 1日 から

平成30年 3月31日 まで

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

## (1) 資産の評価基準及び評価方法

## ①有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法

## ②棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

## (2) 固定資産、繰延資産の減価償却の方法

## ①有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物については定額法を採用しています。

## ②無形固定資産

定額法を採用しています。

## ③繰延資産

法人税法の規定による定額法を採用しています。

## (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しています。

## 2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 11,330,194,644 円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度末日における発行済株式の数 9,000 株

## 4. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額 608,772 円

(2) 1株当たりの当期純利益 16,914 円

### 平成30年度事業計画

1 安全を最優先とする企業風土の構築

鉄道の安全の仕組みは、多くの重大な事故の教訓に基づいて構築されていることを理解し、「安全最優先」の意識の醸成を図り、重大な事故を発生させない取組を推進する。

2 効率的投資による安全性と競争力の強化

経年劣化が進む土木構造物等の維持管理や車両の修繕工事等を計画的に実施し、安全の確保と品質の維持向上、競争力の強化を図る。

また、お客様の視点に立って満足度の一層の向上を目指し、期待に応えるサービス向上を図る。

3 沿線地域等との連携と域外からの誘客

鉄道を核に事業を営む当社は地域を離れては存在し得ない。地域と共に歩む企業として、事業活動を通じて、地域及び当社の持続的発展を目指す。

4 効率経営の追求

一人ひとりが能力を発揮できる会社づくりと業務効率化による足腰の強い会社づくりを追求する。また、常に収支状況を分析しながら適時の対応によって収支の安定化に取り組んでいく。